

世代間交流をどう進めるか

具体的に実施するための視点

高齢者の一歩踏み出すための『足』、買い物が不便、高齢者サロンへの足がない、免許返納、バス本数少ない、シルバー人材センターの活用、短期・軽作業のニーズとマッチング、収入があれば高齢者も元気、子ども・お年寄り食堂、公園・学校で見守り有償ボランティア、高齢者による学童保育、元気な高齢者たくさんいる、高齢者による農業支援

会議で出されたアクションプラン

- ・子ども、お年寄り食堂
- ・シニア起業と世代間交流を組合わせた事業
- ・高齢者による子どもの有償の見守り、預かり
- ・学校、公園で見守り有償ボランティア
- ・元気なシニアによるコミュニティビジネス
- ・シルバー人材センターでの新たな事業展開

空家をまちづくりにどう活用するか

具体的に実施するための視点

大学生向けのワンルームの賃貸物件の空き家が多い、『その他住宅』は減少傾向、空家情報の相談窓口、空家情報の事前把握、所有者情報を町内会・自治会で共有、家財処分の支援、リフォーム支援、町に住んでいた人のUターン促進、若い世代が戻る、家作を改修してカフェ、実家を改装して店舗で商売、空家を高齢者サロン、行政・大学・商工関係による起業支援、空家と遊休農地をセットで活用、週末農業、二拠点居住、体験居住、民間力の活用

会議で出されたアクションプラン

- 遊休農地と空き家をセットで週末農業
- 家作を改修してコミュニティカフェ
- 空き家で体験居住
- 民間主導で体験居住事業

賑わいのある商店街をつくるには

具体的に実施するための視点

商工会会員数は横ばい、高齢者の移動手段の充実、創業塾は毎回定員いっぱい、週替わりで店舗貸出、居ぬきで試しにやってみてから店舗を貸出、地域ごとに求められている店舗が違ふ、戦略的店舗誘致、店舗兼住宅の店舗部分の分離支援、空き店舗に行政の出張所、身内以外で事業を継承する支援、事業継承での長期インターンの受入れ、商店街モール、こだわりの個人商店があつまった携帯、魅力ある店は遠くからでも人がくる、Youtuberによる店舗紹介、子育て世代には惣菜が買える店が便利

会議で出されたアクションプラン

- ・ 高齢者の外出支援で商業活性化
- ・ 空き店舗に行政の出張所
- ・ こだわりの商店の集積
- ・ 自宅兼店舗の分離支援
- ・ 身内以外の事業承継（インターン受入れ）
- ・ 地域で求められる店舗を戦略的に誘致

子育てを地域で支えるためには

具体的に実施するための視点

宮代町の自然豊かな環境を活かした教育、特色ある施設や学校教育をPR、待機児童がないをPR、東武動物公園の活用、子ども・お年寄り食堂、公園・学校で見守り有償ボランティア、高齢者による学童保育、

会議で出されたアクションプラン

- ・山崎山で森のようちえん活動

農業の維持、発展に地域でできることは

具体的に実施するための視点

農地の集約、農業法人への貸出、機械が壊れたらやめてしまう、観光農業、都心から日帰りで来れる、新規就農者が観光農園、収穫・宿泊体験と有名シェフによるおもてなし、スマート農業への支援、ふるさと納税やクラウドファンディングの活用、農機具のシェアリングエコノミー、新しい村でキャンプと東武動物公園のナイトZOO、動物公園で遊んだあとに新しい村に寄れない、遊休農地をデータベース化

会議で出されたアクションプラン

- ・新しい村でキャンプとナイトZOO体験
- ・収穫、宿泊体験にシェフ料理のおもてなし
- ・元気な高齢者による農業支援
- ・新規就農者による観光農業
- ・農機具のシェアリングエコノミー

親しまれる公園にするためには

具体的に実施するための視点

地域のニーズにあわせた利用形態の変更、公園ごとに特色を持たせる、ガーデニングができる公園、自然を楽しむ公園、思い切りボール遊びができる公園、キャンプができる公園、より住民のためになる公園として視点を変えていく、固定観念をすてる、はらっパークでは自然発生的にラジオ体操の集団ができています。高齢者の活動場所として誘導

会議で出されたアクションプラン

- ・ガーデニングやキャンプができる公園
- ・地域のニーズに合わせて活用できる公園
(移動販売車が乗り入れしやすい等)

⑦宮代町のブランド力をどうやって高めるか

具体的に実施するための視点

日本工業大学・東武動物公園とコラボ、進修館などの特徴的な建築物、ノスタルジックな気分、古民家カフェ、町民にとって誇れるもの、町外の人に自慢して共感できるもの、東武動物公園があるだけでは定住にはつながらない、町の認知度低い、東武動物公園などとの結びつきを強くする、災害の少ない町、人のつながりが大事にされている町、人が温かいまち、お店が推す商品を再度PR、とにかく「宮代」の名前をうる、宮代の標記の統一、子育て支援・高齢者支援で宮代スタイルを構築、東京に一番近い田舎、スローライフ

会議で出されたアクションプラン

- ・ 進修館を際立たせるまちづくり
- ・ 豊かな自然、人のつながりをPR
- ・ 動物公園との結びつきを強化

新たな「これぞ宮代」の種になりそうなものは

具体的に実施するための視点

変わらない町を逆にうりにする、田舎をうり、田舎の具体的な表現が必要、都心から一番近い田舎、住民が帰ってきてほっとする場所、作り出すよりも今あるものを磨きなおす、緑豊かで環境いいが不便じゃなくて都会っぽいおしゃれな生活、すでにあるものを再発見することが「新しい」ということ。町内の人には知っていても町外の人には知らない魅力がある、逆に町外の人には魅力に感じることで町内の人には感じてないことも、宮代独自の課題解決方法、新しい村で東京の小学生が田植えを楽しんでいる、商業をレトロでうるなら徹底的に、情報発信の仕方が重要、これまでにない形の他自治体との連携、昭和の懐かしい建物をそのまま活用、田舎とおしゃれな暮らしを融合、エコミュージアム

会議で出されたアクションプラン

- ・ 東京に一番近い田舎をPR
- ・ 田舎とおしゃれな町を融合
- ・ すでにあるものを再発見する
- ・ 昭和の街並みを活かしたエコミュージアム

⑨民間企業や大学がこんなことしたら町がよくなる

具体的に実施するための視点

日本工業大学の生徒が高齢者向けにプログラミングを教えて小学校で生徒に教える（既に実施）、空き店舗を商工会的組織が大学と一緒に借り上げ活用、学生が町に関わり定住、大学・町・民間企業の連携の仕組み必要、大学・信用金庫・企業が協力してビジネスプランコンテスト、起業の環境は良い（家賃安）

会議で出されたアクションプラン

- 大学と信用金庫、民間企業で起業支援
- 大学、町、民間企業の連携の仕組み構築

⑩まちづくりのために意欲的に活動する市民を 生み出していくには

具体的に実施するための視点

まち歩きガイド（昭和の乙女として年配女性）、ボランティアには限界あり、シルバー人材センターの活用、「空家でこんな商売できます」で募集、高齢者の働く場、コミュニティビジネス、ボランティア情報の集約化、役所の横の連携強化、興味がない人にも自然に情報がはいつていく手法、イベントなどの体験談や口コミの活用、シニア起業、ファミリーサポートはサービスの提供側が少ない、人材バンクが必要、女性の活躍の場、子どもと親と一緒に活動できる場、学校と連携して母親層にアプローチ、やりがいだけでなくお金やポイントがたまる仕組み、情報が集まる場を探し出すことも大事

会議で出されたアクションプラン

- ・ 地域での女性の活躍支援
- ・ 元気な高齢者の発掘
- ・ 市民団体でシニア向け「おかえりなさい」イベント
- ・ 町以外の主体による人材バンクの運営
- ・ 空家を活用した有償ボランティアタクシー
- ・ 民間組織による若手起業家発掘イベント
- ・ 主婦が都合つくときだけ開店する店
- ・ 週替わりオーナーの店舗
- ・ 点在する魅力ある店舗のつながる場づくり
- ・ 町民が繋がるカルチャー教室
- ・ 町が関わらない市民や民間主導の活動支援
- ・ イベント、情報発信をバラバラにやらない連携